

## 北海道支部

2020年

☆7月6日(月)～7月12日(日)

総会(メール・郵送による開催)

☆8月22日(土)～29日(土)第193回研究談話会(Zoom  
およびweb原稿公開によるオンライン開催)題目:「Flannery O'Connorの触覚表現——*The  
Violent Bear It Away*を中心に」

発表:江刺佳紘(北海道大学大学院)

司会:松井美穂(札幌市立大学)

☆9月19日(土)～26日(土)第194回研究談話会(Zoom  
およびweb原稿公開によるオンライン開催)題目:「Hemingwayと西部のメキシコ人——“*The  
Gambler, the Nun, and the Radio*”に見るメキ  
シコ人表象と革命運動」

発表:本荘忠大(旭川工業高等専門学校)

司会:本村浩二(駒澤大学)

☆12月12日(土)第30回日本アメリカ文学会北海道支  
部大会(Zoomによるオンライン開催)

特別講演

演題:「ブルーストを意識するヘンリー・ジェイム  
ズ」

講師:水野尚之(京都大学名誉教授)

司会:松井美穂(札幌市立大学)

シンポジウム

タイトル:「英米モダニズムの巨匠とHenry  
James——*In the Cage*を中心に」

司会・講師:斎藤彩世(北星学園大学)

「*In the Cage*における流動性の美学」

講師:金井彩香(公立千歳科学技術大学)

「*In the Cage*の抜け出せない女:Jamesと  
Woolfの性格創造の系譜」

講師:呉 憂(北海道大学大学院)

「“Absence” in *In the Cage*」

コメンテータ:水野尚之

2021年

☆3月31日『北海道アメリカ文学』第37号発行

【特集】「英米モダニズムの巨匠とHenry  
James——*In the Cage*を中心に」

はしがき

斎藤彩世

「*In the Cage*における流動性の美学」 斎藤彩世

「『檻の中』の抜け出せない女——ジェイムズとウ

ルフの性格創造の系譜——」

金井彩香

「Reading Henry James's *In the Cage* as a Ghost  
Story」 WU You

【新刊書紹介】

【研究書】

松本 昇 監修 西垣内磨留美・君塚淳一・中垣恒  
太郎・馬場 聡 編

『エスニシティと物語り——複眼的文学論』所収

○新関芳生 著

「ロボット政治学の試み——アイザック・アシモ  
フのロボットものを再読する」 鎌田禎子

渋谷和郎・野村忠央・女鹿喜治・土居 峻 編著

『今さら聞けない英語学・英語教育学・英米文学』  
所収

○本荘忠大 著

「F・スコット・フィッツジェラルド」, 「アーネ  
スト・ヘミングウェイ」, 「『日はまた昇る』」, 「『武  
器よさらば』」, 「『誰がために鐘は鳴る』」

松井美穂

【翻訳書】

○藤井 光 訳

リン・マー 著

『断絶』

瀬名波栄潤

## 東北支部

2020年

☆4月18日(土) 2020年度4月役員会・講演会・総会  
(東北大学片平さくらホール)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会は中止、総会はメール審議、講演会は延期

☆6月20日(土) 6月例会・役員会(東北大学片平さくらホール)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会と例会は中止

☆12月26日(土) 12月例会・役員会(東北大学片平さくらホール)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会はハイブリッド型で実施、例会は中止

2021年

☆3月13日(土) 3月例会・役員会(TKP 仙台西口ビジネスセンター)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会と例会はハイブリッド型で実施

研究発表1

高橋 愛(岩手大学)

「リディア・マリア・チャイルド『アメリカのつましい主婦』における家庭性」

研究発表2

藤倉ひとみ(順天堂大学)

「ジェンダーの転覆——『蜘蛛女のキス』に見られるハリウッド映画の仕掛け」

☆3月31日(水) 機関誌発行『東北アメリカ文学研究』第45号

(講演1, エッセイ1, 書評・映画評6)

☆2021年度4月役員会・総会

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会は中止、総会はメール審議

## 東京支部

2020年

☆4月, 5月, 6月例会 新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、中止。

☆9月例会 2020年9月26日(土) 午後1時30分よりオンライン(Zoom)で開催。

研究発表: 「サンフランシスコ・ベイ・エリアからみたアメリカ詩」

講師: 原 成吉(獨協大学)

司会: 来馬哲平(青山学院大学)

分科会:

近代散文: 「ジェイムズは西部になにを見たか——書かれなかった *The Sense of the West* が示すもの」

松浦恵美(日本大学)

現代散文: 「聖なる花びら——『彼らの目は神を見ていた』における非科学としての性」  
石川千暁(大妻女子大学)

詩: 「ディキンソンとクルソーの「旅」——ホランド夫人への書簡を読む」

吉田 要(日本工業大学)

演劇・表象: 「「内面」の文化政治——Lionel Trilling と冷戦期プリントカルチャー」

山根亮一(東京工業大学)

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆11月例会 2020年11月28日(土) 午後4時より(詩部門のみ午後2時30分より) オンライン(Zoom)で開催。

分科会:

近代散文: 「エマソンのアメリカニズム再考——“The American Scholar”を読む」

富塚亮平(慶應義塾大学・院)

現代散文: 「*The Catcher in the Rye* のテキストに潜在する「戦場の物語」」

佐藤耕太(大東文化大学・非)

詩(1): 「*The Poetry Deal*——S.F. の桂冠詩人としての Diane di Prima」

小川聡子(共立女子短期大学・非)

詩(2): 「エリザベス・ビショップにおける「スロット・マシン」のモチーフについて」

鷺尾 郁(明治大学・非)

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆12月例会 2020年12月12日(土) 午後2時よりオンライン(Zoom)で開催。

特別講演：アメリカ文学を訳す

講師：柴田元幸（東京大学名誉教授）

司会：後藤和彦（東京大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

2021年

☆1月例会 2021年1月30日（土）午後1時30分より  
オンライン（Zoom）で開催。

研究発表：「初期アメリカの奴隷反乱事件と文学的  
想像力——ニューヨーク植民地の事例と  
大衆歴史小説」

講師：白川恵子（同志社大学）

司会：稲垣伸一（実践女子大学）

分科会：

近代散文：「*The House of the Seven Gables* の地  
層的読解——アメリカン・ロマンスと  
地下資源」

田浦絃一朗（東京女子体育大学・非）

現代散文：「トマス・ピンチョンの *Vineland* に  
おける場所の連帯と声」

榎本悠希（慶應義塾大学・院）

詩：「東欧詩という傍流——チェスワフ・  
ミウオシュ」

諏訪友亮（実践女子大学）

演劇・表象：「50年の忍耐を読み解く——認知症・  
記憶の放棄・生涯にわたる暴力の被害  
者にとってのアーカイブの可能性」

大理奈穂子（神戸学院大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆3月例会 2021年3月27日（土）午後1時30分より  
オンライン（Zoom）で開催。

研究発表：「ダム建設公共事業とコロンビア川表象  
史——ニューデールから冷戦まで」

講師：馬場 聡（日本女子大学）

司会：山口和彦（上智大学）

分科会：

近代散文：「肖像から読む *Pierre*——ダゲレオ  
タイプ時代の視覚と時間性」

大西 慧（早稲田大学・院）

現代散文：「*Sex and the City* に見られる女性の  
生き方についての一考察」

大塩真夕美（目白大学）

詩：「狂気と絶望——Robert Frost の詩を  
生み出すもの」

狭間敏行（創価大学・非）

演劇・表象：「楡の木陰の埋められた所有欲——サ  
ム・シェパードとユージン・オニールの  
家族劇に見る継承の問題」

高橋典子（白百合女子大学・院）

## 中部支部

2020年

☆6月例会

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

☆9月例会

9月19日（土）オンライン開催

研究発表

1. 竹野富美子（東海学園大学）／司会：倉橋洋子（東海学園大学名誉教授）  
「ホーソーンの作品に見るヤング・アメリカ運動」
2. 川村亜樹（愛知大学）／司会：山辺省太（南山大学）  
「Jonathan Franzen の *The Corrections* における喪の作業」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆11月例会

11月21日（土）オンライン開催

研究発表

1. 本田安都子（福井大学）／司会：村山瑞穂（愛知県立大学）  
「James McBride の *The Color of Water* における人種とユダヤ性について」
2. 山口善成（金沢大学）／司会：中村栄造（名城大学）  
「『詐欺師』の博愛と個人主義」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆12月ワークショップ（読書会）

12月12日（土）オンライン開催

テキスト：Paul Beatty, *The Sellout* (2015)

司会：土屋陽子（弘前大学）

講師：邵 丹（名古屋外国語大学）

講師：千葉洋平（中京大学）

講師：三輪恭子（東邦大学）

2021年

☆2月例会

2月20日（土）オンライン開催

研究発表

1. 早川真理子（名古屋大学・院）／司会：小池理恵（常葉大学）  
「Lan Cao の *Monkey Bridge* における橋のモチーフと記憶について」
2. 邵 丹（名古屋外国語大学）／司会：戸田由紀子（椙山女学園大学）

「Tracing Cultural Roots: For a Deconstructive Approach to Ursula K. Le Guin's *The Left Hand of Darkness*」

★例会前に役員会を開催。

☆第37回支部大会

4月24日（土）オンライン開催

研究発表

1. 山辺省太（南山大学）／司会：田中敬子（名古屋市立大学名誉教授）  
「*Go Down, Moses* における悲劇の可能性——アイザック・マクキャスリンとライダーの比較をとおして」
2. 長岡亜生（福井県立大学）／司会：羽澄直子（名古屋女子大学）  
「*Work: A Story of Experience* にみる19世紀アメリカ社会と女性と仕事」

シンポジウム

「民主主義への20世紀アメリカ作家のまなざし」

司会・講師：香ノ木隆臣（愛知学院大学）

講師：土屋陽子（弘前大学）

講師：菅井大地（松山大学）

特別講演

「アメリカ文学を訳す」

講師：柴田元幸（東京大学名誉教授）

司会：川村亜樹（愛知大学）

★研究発表後に総会を開催

## 関西支部

2020年

☆運営委員会 7月4日(土)～10日(金)  
ウェブ会議

☆9月例会 9月1日(火)～15日(火)  
支部ウェブサイト上にてオンライン開催  
研究発表

「地図の西, 西の地図——『タイピー』における  
地図表象」

発表者 小南 悠(関西学院大学・院)

☆運営委員会 9月12日(土)  
Zoomにてオンライン開催

☆10月例会 10月24日(土)

Zoomにてオンライン開催

シンポジウム「変容する〈ホテル〉の時空間」

司会・コーディネーター 池末陽子(龍谷大学)

「ホテル的空間の文化史序説——ウィリアム・  
ディーン・ハウエルズと十九世紀末のホテル」

講師 千代田夏夫(鹿児島大学)

「*The Glimpses of the Moon* と *The Great  
Gatsby* における〈ホスト／ゲスト〉〈ホスト／  
パラサイト〉のたゆたい」

講師 後藤 篤(京都府立大学)

「モーテルへの逃避——『ロリータ』をめぐる  
エスノスケープ」

講師 渡邊克昭(大阪大学)

「錯乱のコズモポリス——『マーティン・ドレ  
スラー』におけるポストヒューマン的身体とし  
ての「ホテル」

★例会前に運営委員会を開催

☆運営委員会 11月15日(日)  
Zoomにてオンライン開催

☆支部大会 12月5日(土)

Zoomにてオンライン開催

フォーラム「アメリカ演劇における病, ディストピア,  
サバイバル」

司会 古木圭子(京都先端科学大学)

講師 黒田絵美子(中央大学)

「被害者意識の隠喩としての病——*Cat on a  
Hot Tin Roof* と *Good People* より」

講師 岡本太助(九州大学)

「構造化されるジェンダースケープと女性嫌悪  
のディストピア」

講師 森 瑞樹(広島経済大学)

「冥府への旅路——*Hadestown* における移動  
のミュージカルの意義」

講師 貴志雅之(大阪大学)

「アメリカ演劇, 疫病を生き抜く政治学」

☆運営委員会 12月29日(火)

Zoomにてオンライン開催

2021年

☆臨時総会&1月例会 1月9日(土)

Zoomにてオンライン開催

若手シンポジウム「アメリカ文学と罪」

司会 平川 和(岐阜大学)

講師 豊田真知(関西学院大学・院)

「『罪』が充満する屋敷——*The House of the  
Seven Gables* における家系と植物」

講師: 中山大輝(奈良工業高等専門学校)

「奴隷制がもたらす罪——*Father Comes Home  
from the Wars Parts 1, 2 & 3* における新たな戦  
いの歴史」

講師: 井上詩歩子(エクセター大学・院)

「告白詩と医用イメージング技術」

講師: 近藤佑樹(大阪大学・院)

「フィリップの「罪悪感」とロススの「責任」  
——*The Plot Against America* における罪の  
形」

☆新評議員会 2月6日(土)

Zoomにてオンライン開催

☆2月例会 2月17日(水)～28日(日)

支部ウェブサイト上にてオンライン開催

研究発表

「フレデリック・ダグラスの *The Heroic Slave* に  
おける英雄像」

発表者 柳楽有里(岐阜市立女子短期大学)

☆新・旧合同運営委員会 3月6日(土)

Zoomにてオンライン開催

☆運営委員会 4月10日(土)

Zoomにてオンライン開催

☆支部総会 5月8日(土)

Zoomにてオンライン開催

講演

講師 若島 正(京都大学名誉教授)

演題 「移行の技法——ナボコフの『キング、ク  
イーン、ジャック』を読む」

司会 水野尚之（京都大学名誉教授）

★総会前に運営委員会を開催

☆『関西アメリカ文学』編集委員会 5月15日（土）

Zoomにてオンライン開催

☆6月例会 6月12日（土）

Zoomにてオンライン開催

研究発表

1. 「Claude McKay とモダニズム——都市の周縁  
とその国際性」

発表者 古東佐知子（神戸女学院大学）

司会 相田洋明（大阪府立大学）

2. 「家を読み解く——Anna Katharine Green の  
“domestic detective fiction”」

発表者 中川千帆（奈良女子大学）

司会 石塚則子（同志社大学）

★例会前に運営委員会を開催

## 中・四国支部

2020年

☆『中・四国アメリカ文学研究』第56号発行（6月1  
日）

☆『中・四国アメリカ文学会会報』第59号発行（6月  
1日）

☆中・四国アメリカ文学会臨時評議委員会

開催日 3月31日（火）

メール審議

☆中・四国アメリカ文学会第49回大会

コロナ感染拡大防止のため中止

☆『Newsletter』第101号発行（11月2日）

☆支部運営委員会

開催日 12月5日（土）13：30～14：20

会場 Zoom オンライン開催

☆冬季大会

開催日 12月5日（土）15：00～17：20

会場 Zoom オンライン開催

研究発表

1) 川下 剛（広島修道大学）

「あらがう意思と血の混じり合い——『七破風  
の屋敷』におけるパフォーマンス表象」

司会：藤吉清次郎（高知大学）

2) 西光希翔（広島修道大学）

「追体験する主体——もう一人の娘から読む  
*Beloved*」

司会：山野敬士（別府大学）

3) 重迫和美（比治山大学）

「現実らしさと虚構らしさを描出する Faulk-  
ner の語りの技法——*Requiem for a Nun* にお  
ける現実世界の虚構らしさの分析を中心に」

司会：山野敬士（別府大学）

2021年

☆支部編集委員会（論文審査）

日時：2月14日（日）

会場：オンライン Zoom 会議



## 九州支部

2020年

☆9月例会

9月5日(土) 14時～17時

場所：Zoom 会議 (九州工業大学 Web 会議室)

研究発表1

前屋敷太郎 (九州産業大学常勤講師)

「Mark Twain と Ambrose Bierce に共通する悪魔的ユーモア——*The Chronicle of Young Satan*を中心に」

司会：江頭理江 (福岡教育大学)

研究発表2

松原留美 (九州産業大学常勤講師)

「神はどこにいるのか? ヘンリー・ソローの自然と神の問題——19世紀後半の科学的知識と大衆の文学批評に比較して」

司会：竹内勝徳 (鹿児島大学)

☆日本英文学会第73回九州支部大会

10月24日(土)～28日(水)

場所：ウェブカンファレンス

アメリカ文学部門のシンポジウムは2021年10月開催の第74回大会(於：西南学院大学)に延期

☆12月例会

12月12日(土) 14時～17時

場所：Zoom 会議 (九州工業大学 Web 会議室)

研究発表

山口晋平 (九州大学大学院博士後期課程)

「『ブライズデイル・ロマンス』におけるマスカレードと身体」

司会：生田和也 (鹿児島女子短期大学)

講演

講師：古井義昭 (立教大学)

「メルヴィル文学における他者の深層——『タイピー』を中心に」

司会：高橋 勤 (九州大学)

2021年

☆役員会・KALS 賞選考会

3月6日(土) 13時～

場所：オンライン会議 (Microsoft Teams を使用)

☆九州アメリカ文学会第66回大会

5月9日(日)

場所：Zoom 会議

研究発表

前屋敷太郎 (九州共立大学)

司会：江頭理江 (福岡教育大学)

「*The Adventures of Tom Sawyer* における Imperfect Child に秘められた才能と19世紀における新しい子供像の一考察」

志水智子 (九州産業大学)

司会：楠本実子 (熊本高等専門学校)

「*Jonah's Gourd Vine* における Hurston の自己探求」

シンポジウム

「イーディス・ウォートン再読——生誕160年を控えて」

司会・講師 千代田夏夫 (鹿児島大学)

講師 新井景子 (武蔵大学)

講師 城戸光世 (広島大学)

講師 高野泰志 (九州大学)

特別講演

新田啓子 (立教大学教授)

「不確かな黒人, フォークナーの場合」

司会 高橋 勤